

method : ディレクションサポート & グッズ コーディネーション

伊良部大橋開通で注目の宮古島。ひとあし早い春をまるごと楽しむ「ゆるくプロジェクト」

ゆるく、くらすように旅する 宮古島

<http://www.miyakojima-style.jp/yukuru/>



沖縄県宮古島市（市長：下地 敏彦）は、春の宮古島市の魅力を伝えるため、2015年2月23日（月）～3月22日（日）、「ゆるくプロジェクト」を実施しています。宮古島市（宮古島、池間島、来間島、伊良部島、下地島、大神島）は1月31日の伊良部大橋開通により、島がひとつにつながり、さらに楽しく過ごすことができる魅力的なデスティネーションになりました。夏期シーズンではない今だからこそ満喫できる「宮古島」のゆるくとした過ごし方、食や体験を新たなコンテンツとして提案していきます。

methodは、この「ゆるくプロジェクト」のディレクションサポートと、ハンモックやレジャーシートをはじめとする、ピクニックエリアの備品コーディネートを担当いたしました。

「ゆるくプロジェクト」とは

“ゆるく”は、沖縄方言で「くつろぐ」という意味と、本プロジェクトのコンセプトである「ゆるくくらすように旅する」という2つの意味を持っています。日々仕事に追われストレスを抱える多くの人たちに、この時期の宮古島だからこそ見つかる自分にあった“ゆるく” “のんびり”した時間を過ごし、またエネルギーが溢れる毎日を取り戻して欲しい、との思いから島の新たな魅力の柱としていく長期的誘客促進として本年スタートを切りました。

本プロジェクトのコンテンツは、「ゆるく」の達人である宮古人（みゃーぴくとぅ）の「普通のこと」を体験してもらい、その考え方、精神に触れてもらうものです。島の象徴的な景色であるさとうきび畑は、宮古人にとっては身近でかけがえのない大切な場所。そこで、普段観光客は眺めることしかできなかった“景色の内側”を体感・体験してもらおうと考えました。また、日頃から「海でくつろぐ」ことが当たり前になっている宮古島の食と自然を満喫してもらうため、「ピクニックエリア」を設けたり、昔ながらの食文化の体験やものづくりなど、島で暮らすおじい、おばあの方の源に触れていただきます。

本キャンペーン後は、いよいよ海開きとなり、いつもの「海の宮古島」となります。その前の今しか感じることでできない、「ゆるく宮古島」には是非多くの方にお越しいただけることを期待しております。

開催期間

2015年2月23日（月）～3月22日（日）

WEBサイト

<http://www.miyakojima-style.jp/yukuru>

Facebookで現地の最新情報を順次発信しています <https://www.facebook.com/yukuru.miyako>

コンテンツ



ゆるるfile.1 さとうきび畑迷路

開通したばかりの伊良部大橋で繋がった伊良部島では、広大なさとうきび畑に、サッカーコート4面分の巨大迷路が出現します。迷路の利用はもちろん無料。製糖用に育てられた大人の背丈ほどあるさとうきび畑が複雑に刈り込まれ、子供だけでなく大人も楽しめる本格的な作りになっています。当初、島の大切なさとうきびを迷路に使うことへ反対する声もありました。しかし、島のさとうきび農家の方々や伊良部島商工会青年部が「橋が開通し多くの観光客に来ていただけるこの機会に、伊良部島のことをもっと知って欲しい」という強い思いを持って立ち上がり、約2日かけてさとうきび畑を刈り込んだ力作となっています。



ゆるるfile.2 気ままにピクニック

有数の絶景ポイントである与那覇前浜ビーチや、伊良部大橋を眼下に望む牧山展望台は、海を眺めながらおしゃべりをしたり、気持ちを落ち着かせに訪れたり、宮古人たちにとっても「憩いの場」です。そこで、宮古人のそんな日常を気軽に楽しんでいただくためにピクニックエリアを設け、飲食の提供やシートやボール、ハンモックといったピクニックグッズをご用意します。何かをしてもいいし、何もしなくてもよい、そんな海の楽しみ方を、気ままにピクニックで体験してほしいと考えています。



ゆるるfile.3 島のものづくり

自然の力を存分に受けて、島の人たちの“誇り”となっている「島のもの」が出来あがっていく工程は宮古島でしか見ることができない体験。ものづくりを通じて宮古人と言葉を交わし、密なコミュニケーションを生み出すことで、観光の合間に何気なく食べている料理や、泡盛などの一つ一つに、ものづくりのバックグラウンドを感じていただきたいと考えています。



ゆるるfile.4 宮古人体験

宮古人(みゃーくびとぅ)を育んだ島の伝統、文化を体験できます。豪快かつ陽気で、お人好しとも言われる島民がどのように形成され、今の宮古島があるのかを楽しく学ぶワークショップや体験メニューを用意。もちろん体験案内人は宮古人です。宮古島の言葉で“美しい道”という意味を持つ綾道(あやんつ)巡りでは、沖縄本島とは異なる歴史を歩んだ宮古島だからこそ培われた歴史をめぐり、宮古料理体験では名物おばあ千代さんの手ほどきを受け、島の野菜を使った料理を学びます。「知る」ことで既存の観光スポットの見方も変わった、とは宮古島を過去に訪れたことのある旅行者の方の言葉です。



ゆるるfile.5 “ならでは” 宮古グルメ

旅の楽しみなのが食事。「ゆるる宮古島」緑ののぼりが設置されている飲食店では、期間中限定の裏メニューや、ピクニック用にテイクアウトができるランチを用意しています。海に囲まれた島だからこそこの「漁師めし」や、島で取れた野菜をふんだんに使ったグルメで宮古らしさを堪能していただきます。また宮古島といえば「オトーリ」（車座になって泡盛を飲む宮古島独特の酒宴の席）ですが、いきなり地元の人との酌み交わしはハードルが高いもの。そこで、「オトーリ」プチ体験ができるお店も登場します。



ゆるるfile.6 ゆっくりサイクリング

宮古島はサイクリングととても相性が良い場所。ポイントは「景色」と「平坦な道路」です。沖縄県内でも随一と言われる透明度の高い海、島々を結ぶコントラストが美しい橋、広大なさとうきび畑といった自然との調和が美しい景色の他、琉球王朝時代から祭事が行われてきた神聖な場である御嶽（うたき）やパワースポット、そしてあの有名な「宮古島まもる君」等、少し足をとめてみたい場所が点在しています。サンゴの隆起によって生まれた平坦な島だからこそ、サイクリングでゆっくり楽しむことができます。今回、サイクリングを楽しめるよう休憩スポットを増設することで、より島をまるごと満喫できるようになります。



伊良部大橋開通

2015年1月31日（土）に、伊良部島と宮古島を結ぶ伊良部大橋が開通しました。全長は3,540mで、無料で渡ることができる橋としては、日本で一番長い橋となります。

宮古島には3つの橋があり、さとうきび畑が広がる来間島とは1995年に完成した来間大橋で、手つかずの自然とカツオ漁が有名な池間島とは1992年に完成した池間大橋で結ばれており、今回、伊良部大橋が開通したことにより伊良部島と隣接する下地島を含め、5つの島がひとつになりました。

伊良部島は、宮古諸島のなかでも宮古本島の次に大きく、広大なさとうきび畑のほか、パウダーサンドが描く弓状が美しい真っ白な砂浜が長く続く渡口の浜や数多くのダイビングスポットがあり、毎年多くの人を訪れています。



method | メソッド

デザイン、ファッション、アート、工芸、食など、一切のジャンルを問わず、より自由な見地から、あらゆる分野で産み出されるモノに対しての「潤滑油」としての役割を果たすべく、店づくりを中心に日々様々な仕事をてがけ、代表 山田遊のもとショップのバイイングやディレクションを手掛けています。

methodなりの視点や言葉、また、その結果としての行動と表現を介することで、モノの作り手や売り手、さらには受け手との狭間で媒介となり良きモノが持続して作られ、また、より良きモノが新たに産み出されていく。

そんな状況が実現することを夢見て、まずは身の周りから現状を更新することに対して情熱を注ぎ、結果、より成熟した社会が成立していくことを理想として掲げています。

山田遊 (バイヤー、監修者)

東京都出身。

南青山のIDEE SHOPのバイヤーを経て、2007年、method (メソッド) を立ち上げ、フリーランスのバイヤーとして活動を始める。現在、株式会社メソッド代表取締役。2013年「別冊Discover Japan 暮らしの専門店」/エイ出版社、2014年「デザインとセンスで売れる ショップ成功のメソッド」/誠文堂新光社 が発売される。グッドデザイン賞審査委員をはじめ、各種コンペティションの審査員や、京都精華大学非常勤講師など、教育機関や産地などでの講義・講演など、多岐に渡り活動中。

活動内容一例

ショップディレクション、バイヤー、VMD業務

国立新美術館内ミュージアムショップ「SOUVENIR FROM TOKYO BY CIBONE」
東京発のセレクトショップ「Tokyo' s Tokyo」羽田空港、原宿
新しいリサイクルショップ「PASS THE BATON」、etc.

イベント関連

燕三条地域の工場を開放するイベント「燕三条 工場の祭典」全体監修
SHOWCASE (主催3社のうちの1社)、etc.

プロダクト開発、監修

東京タワー オリジナルグッズ
花火のセレクトショップ「fireworks」、etc.

贈呈品セレクト

APEC 2010 (アジア太平洋経済協力会議)、IMF (国際通貨基金) ・WB (世界銀行) 年次総会2012、etc.

methodが運営するギャラリースペース (PLACE) by method

ファッションの展示会や受注会、クリエイターの展覧会会場として、ご活用いただいています。

お貸し出し等につきましては、個別にお問い合わせ下さい。



General Contact : method inc. 150-0011東京都渋谷区東1-3-1 カミニート14号
Tel : 03-6427-9296 Fax : 03-6427-9297 mail : info@wearemethod.com
method Press Support : HOW INC.
Tel : 03-5414-6405 Fax : 03-5414-6406 mail : info@how-pr.co.jp